

令和7年度第2回公立大学法人福知山公立大学教育研究審議会 議事録

日 時：令和8年3月25日（水）13時30分から15時20分まで

場 所：福知山公立大学4号館4階会議室

出席者：

（委員）川添信介委員、西田豊明委員、倉田良樹委員、井上直樹委員、池野英利委員、
倉本到委員、坂根文伸委員、辻直人委員、猪口健司委員、今井一之委員、
岡田知弘委員、落合登志哉委員、中村佳正委員
（事務局）荻野美代子、大江伸哉、小原淳史、竹元啓、杉本貴円

会議概要

<定足数>

定款第21条第4項により成立した。

<議長>

定款第21条第3項により川添理事長が議長となった。

<確認事項>

前回の議事録（案）について確認を行い、原案どおり承認された。

<審議事項>

1号議案 公立大学法人福知山公立大学令和8年度年度計画（案）について

公立大学法人福知山公立大学令和8年度年度計画（案）〔審議1〕について審議を行い、原案どおり承認された。

<主な意見>

- ・ 情報学部と大学院の連携による個性的な人材育成により、ひいては就職活動の実績として現れてくればと期待している。地域経済の担い手が大変不足している中で、そのような観点も取り入れ、進路の確保や地元の小・中・高校との連携も含めて着実に進めていただきたい。
- ・ 年内入試の比率をどうするかという点は課題の一つ。特に、小規模高校から公立大学に何とか入学させたいという思いは非常に強いものがあり、地方の進学校においてトップ層ではない生徒層が一つのターゲットになると考えられる。
- ・ 「情報学を基盤とする」という言葉に対して、特に地域経営学部志望の高校生には敬遠する者もいると思われるが、現代社会において情報学の基礎知識やスキルは必須であり、あらゆる学問の基盤となり得るものであるという本学の方針を分かりやすく発信していく必要がある。
- ・ 小中校の教育現場においても、生成AIをいかに活用すべきか暗中模索の状態にある。大学におけるFD研修の内容を還元し、何らかの形で指導していくことが望ま

れる。

- ・ 中学・高校の教育現場では、教師自身が生成 AI を活用しなければならないと感じつつも、具体的な使い方や生徒への指導方法が分からず困惑している状況にある。高大連携や地域連携の中でこうした課題に対する協力関係を深めていくことは、地域や中学・高校の教育現場に対して大きな影響力を持つものと思われる。

2号議案 公立大学法人福知山公立大学の組織改編について

公立大学法人福知山公立大学の組織改編〔審議2－1〕～〔審議2－8〕について審議を行い、原案どおり承認された。

3号議案 特命教員の契約更新について

特命教員の契約更新〔審議3〕について審議を行い、原案どおり承認された。

<報告事項>

(1) 公立大学法人福知山公立大学令和8年度予算(案)について

公立大学法人福知山公立大学令和8年度予算(案)〔報告1〕について報告があった。

(2) 公立大学法人福知山公立大学組織規程の改正について

公立大学法人福知山公立大学組織規程の改正〔報告2〕について報告があった。

(3) 令和8年度の本学の運営体制について

令和8年度の本学の運営体制〔報告3〕について報告があった。

(4) 近況報告

大学の近況〔報告4〕について報告があった。

(5) 令和6事業年度に係る業務の実績に関する評価結果に対する対応について

令和6事業年度に係る業務の実績に関する評価結果に対する対応〔報告5〕について報告があった。

(6) 教員の採用について

教員の採用〔報告6〕について報告があった。

(7) 客員教授等の称号の更新及び付与について

客員教授等の称号の更新及び付与〔報告7〕について報告があった。

(8) 規程の制定・改正

規程の制定・改正〔報告8〕について報告があった。

(9) 基幹教員制度の適用に伴う基幹教員に係る情報公開について

基幹教員制度の適用に伴う基幹教員に係る情報公開〔報告9〕について報告があった。